

ばけたくん

教科・場面

グループ（国・算）

授業・実践のねらい

・目標とするものに手を伸ばして、取る・引っ張る・握る・押す等の操作をする。（算数）

対象の児童・生徒

- ・小学部（1年3名、5年1名、6年3名 計7名の発達段階別の学習グループ）
- ・重度重複チェックリスト 国算共にⅢ段階。

国語の段階としては【声の変化への気付き、音の方向性への気付き、特定のフレーズへの気付き】

算数の段階としては【把持、単純な操作、リーチング、単純な因果関係の理解】が当てはまる。

- ・グループの具体的な目標は
- 【国語】①特定の音が何らかの前振りを示していることに気づく。②音や活動の始まりと終わりがわかる。③特定の声で喜んだり不安がったりする。
- 【算数】目標とするものに手を伸ばして、取る・引っ張る・握る・押す等の操作をする。 としている。

教材・教具



置き場所が決まっていないので、使いたい方、お声掛けください。

工夫したところ

ばけたくんの大きさ・見やすさ・口の中に実際に素材を入れられるように

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・『ばけばけばけばけ ばけたくん』を使ったお話あそびを通して、目標とするもの（ばけたくんの口）に素材（お話に登場するたべもの）を操作して入れる学習をした。
- ・様々な感触や形状、重さを用意することで個々の実態の課題に対応できるようにしている。
- ・お話をしながら実際にばけたくんの口に素材（食べ物）を入れる見本を示してから、一人ずつ順番に一つを入れる活動をした。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・ばけたくんは見やすかったようでどの児童もよく見ていた。（目の前で動かしながらお話を読んだのも良かったかも？）
- ・様々な素材を用意したことで、個々の課題に応じて活動することができた。
- ・素材を持つ（握る）ことに加え、実際に口の中に“入れる”操作も課題として取り組むことができた。